



8 働きがいも経済成長も

みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう

- 8-2 商品やサービスの価値をより高める産業や、労働集約型の産業を中心に、多様化、技術の向上、イノベーションを通じて、経済の生産性をあげる。
- 8-3 働きがいのある人間らしい仕事を増やしたり、会社を始めたり、新しいことを始めたりすることを助ける政策をすすめる。特に、中小規模の会社の設立や成長を応援する。
- 8-5 2030年までに、若い人たちが障害がある人たち、男性も女性も、働きがいのある人間らしい仕事をできるようにする。そして、同じ仕事に対しては、同じだけの給料が支払われるようにする。
- 8-6 2020年までに、仕事も、通学もせず、職業訓練も受けていない若い人たちの数を大きく減らす。
- 8-9 2030年までに、地方の文化や産品を広め、働く場所をつくりだす持続可能な観光業を、政策をつくり、実施していく。



11 住み続けられるまちづくりを

だれもがずっと安全に暮らせて、災害にも強いまちをつくらう

- 11-2 2030年までに、女性や子ども、障害のある人、お年寄りなど、弱い立場にある人びとが必要としていることを特によく考え、公共の交通手段を広げるなどして、すべての人が、安い値段で、安全に、持続可能な交通手段を使えるようにする。
- 11-3 2030年までに、だれも取り残さない持続可能なまちづくりをすすめる。すべての国で、だれもが参加できる形で持続可能なまちづくりを計画し実行できるような能力を高める。
- 11-4 世界の文化遺産や自然遺産を保護し、保っていくための努力を強化する。
- 11-5 2030年までに、貧しい人びとや、特に弱い立場にある人びとを守ることを特に考えて、水害などの災害によって命を失う人や被害を受ける人の数を大きく減らす。世界の国内総生産(GDP)に対して災害が直接もたらす経済的な損害を大きく減らす。
- 11-7 2030年までに、特に女性や子ども、お年寄りや障がいのある人などをふくめて、だれもが、安全で使いやすい緑地や公共の場所を使えるようにする。



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

すべての人が、安く安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにしましょう

- 7-1 2030年までに、だれもが、安い値段で、安定的で現代的なエネルギーを使えるようにする。
- 7-2 2030年までに、エネルギーをつくる方法のうち、再生可能エネルギーを使う方法の割合を大きく増やす。
- 7-3 2030年までに、今までの倍の速さで、エネルギー効率をよくしていく。



13 気候変動に具体的な対策を

気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう

- 13-1 気候に関する災害や自然災害が起きたときに、対応したり立ち直ったりできるような力を、すべての国でそなえる。
- 13-2 気候変動への対応を、それぞれの国が、国の政策や、戦略、計画に入れる。
- 13-3 気候変動が起きるスピードをゆるめたり、気候変動の影響に備えたり、影響を減らしたり、早くから警戒するための、教育や啓発をより良いものにし、人や組織の能力を高める。



3 すべての人に健康と福祉を

だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしましょう

- 3-1 2030年までに、赤ちゃんがおなかの中にいるときや、お産のときに、命を失ってしまうお母さんを、2030年までに、産まれる赤ちゃん10万人あたり70人未満まで減らす。
- 3-4 2030年までに、予防や治療をすすめ、感染症以外の病気で人々が早く命を失う割合を3分の1減らす。心の健康への対策や福祉もすすめる。
- 3-6 2020年までに、交通事故による死亡やけがを半分にまで減らす。
- 3-8 すべての人が、お金の心配をすることなく基礎的な保健サービスを受け、値段が安く、かつ質の高い薬を手に入れ、予防接種を受けられるようにする(ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)。



5 ジェンダー平等を実現しよう

男女平等を実現し すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう

- 5-1 すべての女性と女の子に対するあらゆる差別をなくす。
- 5-4 お金が支払われない、家庭内の子育て、介護や家事などは、お金が支払われる仕事と同じくらい大切な「仕事」であるということ、それを支える公共のサービスや制度、家庭内の役割分担などを通じて認めるようにする。
- 5-5 政治や経済や社会のなかで、何かを決めるときに、女性も男性と同じように参加したり、リーダーになったりできるようにする。

